

学年	教科	科目	教材名
高3 総合進学 [文系]	数学	数学研究	リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B受験編(数研出版) 数学活用(実教出版)

1. 授業のねらい

- (1) 既習の数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数Bの内容についての理解を深める。
- (2) 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- (3) 数学に関する知識を整理し、総合的に解く力を身につける。

2. 授業のすすめ方

- (1) Approachを中心に学習し、適宜Basicも学習します。
- (2) 毎回授業の前に予習をしてくることを前提とし、授業中では、単元の基本事項の確認と問題演習・解説を行います。ICT教材も適宜利用します。

3. 学習上の留意点

- (1) 必ず予習をしてきてください。自力で解く努力をしてから授業に臨めば、確実に授業中の理解度は上がり、能力向上につながります。
- (2) 努力した上で予習としてテキストの問題を解くことが困難だったならば、教科書や参考書などを用いて、せめてその単元のポイントに関して理解してから授業に臨んでください。
- (3) 解けない問題はそのままにせず、理解するまで追及してください。予習で手がつけられなかった問題も、授業後の復習において自力で解くようにすることで、更なる飛躍が期待できます。

4. 副教材・参考文献

- (1) 教材は、「リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B受験編」を用います。
- (2) 予習や家庭学習において、今までの教科書や、必要ならばスタディサプリ等を各自利用してください。
- (3) 基礎学力到達度テスト後に、数学活用(実況出版)の内容を学習します。

5. 評価の視点・テスト・課題等

- (1) 平常点は、1学期は20点、2学期は10点です。
小テスト等の点数、課題の提出状況、授業の様子などを参考にします。
- (2) 定期考査 100点×3回

6. 定期考査

- (1) 「リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B受験編」の類似問題を出題します。

(2) 各定期考査の範囲

○ 1学期中間考査

第1章 数と式	第2章 2次関数	第3章 図形と計量
第4章 データの分析	第5章 場合の数と確率	第6章 図形の性質
第7章 整数の性質		

○ 1学期期末考査

第8章 式と証明	第9章 複素数と方程式	第10章 図形と方程式
第11章 三角関数	第12章 指数関数・対数関数	第13章 微分法と積分法
第14章 ベクトル	第15章 数列	

○ 2学期期末考査

数学活用(該当項目より出題)、入試問題(数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B)

※進捗状況により変更になる場合があります。正式な各定期考査の範囲は、考査の1週間前頃に担当者より発表されます。

7. 授業計画

	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標	
一 学 期	4	第1章 数と式	中間 考 査	○数Ⅰ・数Ⅱ・数A・ 数Bの問題集を教材 の中心として、授業 を展開する。基本事 項について、かつて 学習した内容をもう 一度例題等を用いて 丁寧に説明をする。 多くの問題を解かせ ることによって、理 解度の向上及び基礎 学力の充実を図る。	
		第2章 2次関数			
		第3章 図形と式			
	5	第4章 データの分析			
		第5章 場合の数と確率			
		第6章 図形の性質			
	6	第7章 整数の性質			
		第8章 式と証明			
		第9章 複素数と方程式			
	7	第10章 図形と方程式			
		第11章 三角関数			
		第12章 指数関数・対数関数			
	7	第13章 微分法と積分法			期 末 考 査
		第14章 ベクトル			
		第15章 数列			
二 学 期	9	基礎学力到達度テスト対策演習	期 末 考 査	○今まで学んだ数学 をもとにして、数学 が人とともにあり、 世の中の役に立っ ていることを学ぶ。	
	10	数学活用			
		1章 身の回りの数学			
	11	2章 社会生活と数学			
		3章 数学の発展と人間の活動			
		入試問題演習			